

公益社団法人 全国大学保健管理協会
第1回保健看護委員会 議事要旨

I. 開催日時

令和元年10月10日（木）8：30～10：10

II. 場所

札幌コンベンションセンター 202会議室（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

III. 出席者

森正明（理事 慶應義塾大学保健管理センター長）、吉田智子（委員長 千葉大学総合安全衛生管理機構看護師）、砂川昌子（副委員長 東京女子大学保健室保健師）佐藤希代巳（小樽商科大学保健管理センター看護師）、長沼敦子（岩手大学保健管理センター保健師）、楠田康子（神戸大学保健管理センター看護師）、福盛文恵（九州工業大学保健センター保健師）、森福織江（書記 山口大学保健管理センター保健師） 計8名 欠席者：なし

IV. 議事

1. 吉田委員長より保健看護委員会の趣旨等について説明があり、委員間で確認した。公益社団法人という性質上非会員も視野に入れて有益な取り組みを行っていく。
2. 活動計画について
大学保健管理における看護職の専門性の明確化および業務の標準化を中・長期的な目的とし、それを達成するための方法として以下について取り組んでいくことを確認。主担当を決めて進めていくこととした。
 - 1) 保健看護業務マニュアルの作成（担当：佐藤、楠田、福盛、森福）
看護職がスムーズに業務が実践できるよう、「保健看護業務マニュアル」を作成するために準備をすすめる。業務を標準化することで、担当交替時の引き継ぎの円滑な実施や業務の質の向上につなげる。すでにあるマニュアルなどを参考に内容の精査をしていく。
 - 2) レベル別研修会の企画検討（担当：吉田、砂川、長沼）
看護職の業務の質の向上を目的に、職種、経験年数、ニーズに応じた研修を計画し実施することを検討する。将来的には資格制度の制定なども考慮していく。まずは、研究集会等に参加できずに保健管理の基礎が学べていない看護職を対象にした研修会を、特定の地区で試験的に実施する。
 - 3) 協会加入状況把握と加入促進（担当：各委員）
協会加入費用等、種々の事情で全国の大学の約半数が非会員校であり、保健管理の実態が不明である。非会員校の実態を把握するとともに、協会加入のメリットを知ってもらい加入につなげる。今後の保健看護委員会の情報発信を行う際にもスムーズに行える。
 - 4) 各地区の看護職の活動を委員間で共有し、委員会活動に生かす。
3. その他
吉田委員長より、「大学における健康診断・健康関連情報の標準化についてのガイドラインの改定が開始されるため、看護職の視点での確認依頼があった。

以上